



2018 **6.26** TUE - **8.26** SUN

前期 | 6月26日(火) - 7月29日(日)

後期 | 7月31日(火) - 8月26日(日)

※前後期で一部展示替えを実施

開館時間 | 9:30 - 17:30 (入館は17:00まで)

休館日 | 毎週月曜日 ※7月16日(月・祝)開館、7月17日(火)休館

主催 | 墨田区・すみだ北斎美術館

協力 | 有限会社風呂猫

企画協力 | 株式会社アドシステム



すみだ北斎美術館

# 北斎展 ひろしの ますむら



# ますむらひろしの北斎展

ATAGOAL × HOKUSAI

すみだ北斎美術館では、ますむらひろしの漫画「アタゴオル」シリーズのキャラクターと葛飾北斎の浮世絵が合体した異色のイラスト作品「アタゴオル×北斎」の展覧会を開催します。

ますむらひろしは、宮沢賢治の童話作品の漫画化やアニメーション『銀河鉄道の夜』（杉井ギサブロー監督）の漫画原作者としてその名を知られていますが、漫画「アタゴオル」シリーズは氏が作家活動の中で最も長く付き合ってきた空想の世界です。

この「アタゴオル」の世界と、北斎の浮世絵が合体した「アタゴオル×北斎」作品の面白さはなんと言っても猫のヒデヨシをはじめとする「アタゴオル」の住人たちが北斎の描く日本の美しい風景に違和感なく溶け込んでいるところでしょう。しかし、氏はこれらを単に人物をキャラクターに置き換えた北斎のパロディとして描いたわけではありません。この作品の一つ一つには氏による文が付けられ、そこには北斎の浮世絵を模写し「アタゴオル」の要素を加える際の考えや姿勢、そのプロセス、そして、北斎の画業についての自身の見解等が北斎への尊敬と畏敬の念を持って語られています。「アタゴオル×北斎」はいわば氏の解釈による絵と文が一体となった北斎の研究作品でもあるのです。

本展の最大の見どころは、「アタゴオル×北斎」と、葛飾北斎の「富嶽三十六景」シリーズをはじめとした浮世絵（オリジナルと複製版画やパネル）を比較しながら、北斎との違いや氏の解釈を体感できることです。また、当館のために描き下ろした新作「漁師図」も展示します。その他、「アタゴオル」シリーズの漫画原稿やイラスト作品など貴重な資料もあわせて、約140点を前後期一部展示替えをしながら紹介します。

ますむら流ユーモアとあわせて解釈が加わった新しい北斎の世界をお楽しみください。

※今回「アタゴオル×北斎」の比較展示として、当館貯蔵の江戸時代の北斎の浮世絵、前後期あわせて24点（版画9点、版本15点）と、それ以外は、公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団にご協力いただき、アダチ版画研究所制作の複製版画を展示しています。

※展示作品は都合により、変更することがあります。

## ATAGOAL【アタゴオル】

ますむらひろしの代表的なシリーズ作品。現在までに「アタゴオル物語」「アタゴオル玉手箱」「アタゴオル」は猫の森の4つのシリーズが発表され、主に読み切りの短編が作品の中心となっている。「アタゴオル」と呼ばれる世界を舞台に、立って歩くユーモラスな猫ヒデヨシと個性豊かなその住人達を中心に物語が展開する。また、ヒデヨシが起こす数々の騒動をきっかけに新しい発見が「アタゴオル」の世界にもたらされる点は本シリーズの特徴の一つとなっている。

※アタゴオルは作者（千葉県野田市在住）地元の最寄り駅東武野田線壁岩駅から名付けられた。

～表面作品～

ますむらひろし「米沢市立興譲小学校創立120周年記念ポスター」2010年発表 ©ますむら・ひろし  
 ますむらひろし「隅田川開屋ノ里（富嶽三十六景）」2010年発表 ©ますむら・ひろし  
 ますむらひろし「宝水山出現（富嶽百景）」2011年発表 ©ますむら・ひろし  
 ますむらひろし「月下ノ不二（富嶽百景）」2012年発表 ©ますむら・ひろし  
 ますむらひろし「窓ノ不二（富嶽百景）」2013年発表 ©ますむら・ひろし  
 ますむらひろし「隅田川夕涼」2013年発表 ©ますむら・ひろし  
 ますむらひろし「かめみど天神たいこばし（諸国名橋奇覧）」2011年発表 ©ますむら・ひろし



ますむらひろし「漁師図」2018年発表 ©ますむら・ひろし（通期）



ますむらひろし「米沢市立興譲小学校創立120周年記念ポスター」2010年発表 ©ますむら・ひろし（通期）



ますむらひろし「隅田川開屋ノ里（富嶽三十六景）」2010年発表 ©ますむら・ひろし（前期）



ますむらひろし「隅田川開屋ノ里（富嶽三十六景）」2010年発表 ©ますむら・ひろし（後期）

## MASUMURA Hiroshi 【ますむらひろしプロフィール】

1952年山形県米沢市生まれ。20歳から漫画を描きはじめ、1973年にデビュー作「霧にむせぶ夜」で第5回手塚賞準入選。同年「月刊ガロ」で「1975」が入選し、1975年には同誌で「ヨネザアド物語」を発表。1976年からは初期代表作「アタゴオル物語」を「月刊マンガ少年」に発表。同作の「アタゴオル」は宮沢賢治の心象世界「イーハトーブ」に呼応してつくられ、その世界で繰り広げられるユーモラスな猫ヒデヨシと個性豊かなキャラクターの物語は人気を呼び、以後「アタゴオル」の作品は長年に渡ってシリーズ化される。キャラクターは大手メーカーのCMにもたびたび起用され、1997年には同シリーズの「アタゴオル玉手箱」で日本漫画家協会賞大賞を受賞している。また、2006年からは故郷である米沢市の「おしよしな観光大使」を務めているほか、米沢市内では「アタゴオル」のキャラクターたちが描かれた米沢市街地循環バス、愛称「ヨネザアド号」が走っている。一方で、自身に多大な影響を与えた宮沢賢治の作品も1983年から数多く漫画化。1985年には氏の漫画原作をもとにアニメーション映画「銀河鉄道の夜」がつくられ、2001年には宮沢賢治学会イーハトーブ賞を受賞している。近年の宮沢賢治作品としては「やまなし」「處十公園林」「オツベルと象」「ひかりの素足」などがある。

## ◆観覧料 ※会期中観覧日当日に限り、AURORA（常設展示室）もご覧になれます。

	一般	高校生・大学生	65歳以上	中学生	障がい者	小学生以下
個人	1,000円	700円	700円	300円	300円	無料
団体	800円	560円	560円	240円	240円	無料

## ◆関連イベント

### ますむらひろしトークイベント「アタゴオル×北斎」

出演者／ますむらひろし（漫画家）、奥田敦子（当館主任学芸員）  
 場所／MARUGEN100（講座室）  
 日程／2018年7月21日（土）  
 時間／14:00～15:30（開場13:30）  
 定員／60名  
 料金／無料（ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です）

### スライドトーク「ますむらひろしの北斎展」の見どころ

講師／奥田敦子（当館主任学芸員）  
 場所／MARUGEN100（講座室）  
 日程／2018年7月7日（土）◎2018年8月18日（土）  
 時間／14:00～14:30（開場13:30）  
 定員／60名  
 料金／無料（ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です）

※団体は有料のお客様20名以上。 ※中・高・大学生（高専、専門学校、専修学校生を含む）は生徒手帳または学生証、65歳以上の方は年齢を証明できるものをご提示ください。  
 ※身体障がい者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳、被爆者健康手帳などをお持ちの方及びその付添の方1名まで障がい者料金でご覧いただけます。（入館の際は、身体障がい者手帳などの提示をお願い致します。）

### ますむらひろしサイン会

場所／MARUGEN100（講座室）  
 日程／◎2018年7月22日（日）◎2018年8月11日（土・祝）  
 時間／13:30～14:30（開場13:00） 定員／先着100名（予定）  
 料金／無料  
 （当館ミュージアムショップで、画集又は、ますむら先生の著作物をご購入いただいた方に整理券を配布予定。詳細は、HPをご覧ください。）

### 夏休みミュージアム・シネマ「銀河鉄道の夜」

（1985年、杉井ギサブロー監督、KADOKAWA）  
 ますむらひろしの漫画原作を元に映画化された「銀河鉄道の夜」を美術館でデジタル上映します。  
 場所／MARUGEN100（講座室）  
 日程／2018年7月29日（日）  
 時間／14:00～15:40（開場13:30、上映時間約1時間40分）  
 定員／70名（事前申込制）  
 料金／無料（ただし観覧券または年間パスポートが必要です）  
 ※申込の詳細はHPをご覧ください



都営地下鉄大江戸線「両国駅」A3出口より徒歩5分  
 JR総武線「両国駅」東口より徒歩9分  
 JR総武線「錦糸町駅」北口より墨田区内循環バスで5分

〒130-0014 東京都墨田区亀沢2-7-2  
 TEL 03-5777-8600（ハローダイヤル）  
<http://hokusai-museum.jp/MASUMURA/>

<支援者の皆様> ■スポンサー/パートナー：東京東信用金庫/丸源飲料工業株式会社 ■共同創設者：渡辺パイプ株式会社/東京東信用金庫/東武グループ/オリックス株式会社/株式会社ジェイコム東京 すみだ・台東局/柳崎 妙見山 法性寺/花王株式会社/河原工業株式会社/凸版印刷株式会社/国際ファッションセンター株式会社 ■北斎オフィシャルサポーター：株式会社派友商事

Facebook: <https://www.facebook.com/THE.SUMIDA.HOKUSAI.MUSEUM/>

Twitter: <https://twitter.com/HokusaiMuseum/>

